



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

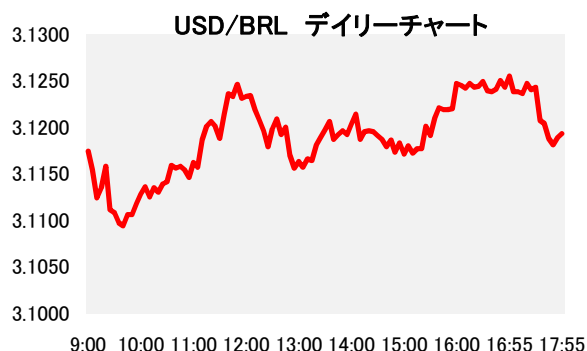
1. マーケット・レート

			1月31日	2月1日	2月2日	2月3日	2月6日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1490	3.1280	3.1220	3.1230	3.1190	-0.0040
	BRL/JPY	Spot	35.79	36.14	36.12	36.16	35.84	-0.32
	EUR/USD	Spot	1.0804	1.0775	1.0762	1.0767	1.0747	-0.0020
	USD/JPY	Spot	112.71	113.05	112.74	112.96	111.79	-1.17
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	11.631	11.623	11.594	11.559	11.541	-0.018
	Future	1Year(p.a.)	10.803	10.782	10.746	10.726	10.709	-0.018
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.112	2.212	2.122	2.060	2.003	-0.057
	USD	1Year(p.a.)	2.383	2.457	2.386	2.321	2.257	-0.064
株式	Bovespa指数		64676	64836	64340	64954	63993	-961
CDS	CDS Brazil 5y		249.83	249.30	242.85	239.23	239.74	+0.51
商品	CRB指数		192.035	194.335	193.520	193.202	192.164	-1.04

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

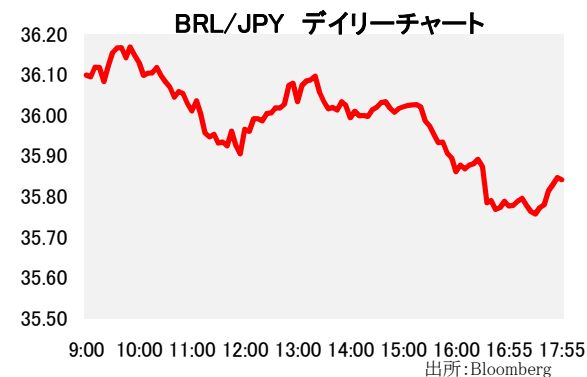
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
自動車生産台数(伯自動車工業会)	--	-38.80%	42.40%
自動車販売台数(伯自動車工業会)	1.00%	1.30%	3.50%
自動車輸出(伯自動車工業会)	1.90%	1.70%	0.20%
貿易収支(週次)	250k	246k	260k



3. 要人コメント

メイレス伯財務相	1ヶタの政策金利はインフレの低下次第である。
----------	------------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは3.1190で寄り付いた後、大口の資金流入と思しきレアル買いが見られると本日の高値となる3.1080まで上昇。しかし海外で株式市場を中心にリスク資産の売りが優勢となると、レアルはじりじりと3.12台半ばまで反落した。その後、特段材料に乏しい中レアルは3.1150から3.1250の間で小幅に推移、結局3.1190でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2017年の経済成長率予想は0.50%から0.49%に下方修正され、2018年は2.20%から2.25%に上方修正された。2017年のインフレ率予想は4.70%から4.64%に下方修正され、2018年予想は4.50%に据え置かれた。2017年末の予想為替レートは3.40に、2018年予想は3.50に据え置かれた。
- ボベスパ指数は海外のリスクオフモードにつられてほぼ全銘柄が下げる中、約1%下落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。